

原村の地域おこし協力隊が発行するかわらばんのことです。
原村で暮らす、おもしろくて素敵なお話を紹介します。

「信州登山案内人 山岳ガイド」 石川 高明さん（48）

東京都出身。大学時代、初めての登山で八ヶ岳を縦走し、その面白さに魅せられた。以来、日本のみならず世界中の山に登る。帰国して数年後、山の傍に住みたいと考え原村へ移住し、現在は信州登山案内人の山岳ガイドとして登山の面白さと安全に登山を楽しむ術を広く伝えている。その他にも原村観光連盟副会長を務め、観光振興の一助を担っている。

1・2月スノーツアー開催！ハチガイド <https://8guide.jp/>



「原村から見える山はすべて登りました。本当に良い眺めですね〜！」と360度の山々を眺め、嬉しそうに話す石川さん。登山と初めて出会ったのは大学時代に入ったハイキングクラブ。八ヶ岳を縦走し、その美しさと面白さに魅せられたと言う。クラブで登山を行う中で仲間の事故を目の当たりにし、自然相手に人間はなす術がないことを身をもって体験した。「事故は絶対にしちゃいけない。起こるのには理由がある。計画や体調に無理があったら中止する。山は逃げませんからね。この事故を経験して以来、一度も事故は起こしていません。」と石川さん。下見や気象などの情報収集、出来得る準備を全て行い、計画通りに進めて山で判断する状況を極力減らすことが大事と話すが、世界一周登山の旅に出るべく、9年間務めた会社を退職。アコンカグアをはじめとする6000m級の山々に登ったという。その旅の途中、スイスのツェルマットに1年8ヶ月ほど滞在しハイキ

ングガイド業に従事することとなる。スイスでは地元の人たちが登山を楽しんでおり、学校では世界中から愛される地元の山について子どもたちが学べる教育もあり、登山ガイドは医者と同じくらい尊敬されているという。「八ヶ岳も世界に誇れる山ですから、地元の人たちの登山文化を養い、地元の人々が愛する山を指しています。」と話してくれた。原中学校の学校登山のガイドも務める石川さん。「景色を見ながら山歩きを楽しんだり、山野草を見に行くだけでもいい。登頂することだけが目的ではないことを知ってほしい。」と話し、一人一人違った感性で、それぞれの楽しみ方で山と親しみ、山を好きになってほしいと語る。自然の中にお邪魔して道を切り開いて生活をしているのだから、登山道の修繕や保全活動はセットと話すと石川さん。人が歩くことにより維持できる山道を、人の山登りのお手伝いをする中で「自然」と「人」との繋がりの場を護られている。石川さんは、恵みを与え包み込み、時に厳しさを教えてくれる山のような人だ。

それぞれの感性・楽しみ方で山と親しみ、
* 地元の人々が愛し護る八ヶ岳を目指して

